

黒カビ菌 Cladosporium

第AK22-22-0028-2号
2022年6月21日

報 告 書

アキロン株式会社 様



厚生労働大臣登録検査機関
神戸市東灘区御影塚町1丁目2番15号
一般社団法人 日本油料検定協会
総合分析センター
電話078-841-4931代表

貴依頼による検査結果を下記のとおり報告します。

試料名 : アキロンMIOX(マイオックス)BM液
試験項目 : 殺菌力試験
受付年月日 : 2022年4月28日 (提示見本)

記

1. 試料 : アキロン MIOX(マイオックス)BM液
2. 試験目的 : 試料の微生物に対する殺菌効果を確認する。
3. 試験概略

試料に菌液を接種後 (以下「試験液」とする。)、室温で保存し、30 秒後の生菌数を測定した。

なお、あらかじめ不活性化の確認試験を行い、生菌数の測定方法について検討を行った。

4. 試験方法

1) 試験菌株

Cladosporium NBRC 6348

黒カビ菌
Cladosporium

2) 菌数測定用培地

GPLP 寒天培地「日本製薬株式会社」、混積平板培養法、25±1℃、3~5 日間。

3) 試験菌液の調製

ポテトデキストロース寒天平板培地に試験菌株を接種し、25℃で、5~7 日間培養する。培養後の平板培地より菌体を培地ごと 50mL 容滅菌コニカルチューブ (0.1%トリプトン 0.85%NaCl 溶液(10mL)、ガラスビーズ) に掻き取り、上下に攪拌し、更にボルテックスで攪拌し、ガラスウールでろ過し、試験菌液とした。

4) 試験操作

試料 9mL に試験菌液を 1mL 接種し、試験液を調製する。試験液を室温で保存し、保存 30 秒後に試験液を直ちに SCDLP 液体培地「日本製薬株式会社」で 10 倍希釈し、試験液中の生菌数を菌数測定用培地を用いて測定した。

また、対照として、滅菌生理食塩水を用いて同様に試験し、生菌数を測定した。

5) 試料の不活性化の確認

SCDLP 液体培地 (不活性化剤) 9mL に試料 1mL を加え、振とう攪拌させたものに試験菌液を 1mL 加え、30 秒間室温で保存し、保存後、生菌数の測定を行い、生菌数に差がないことを確認した。

黒カビ菌 Cladosporium

第AK22-22-0028-2号 (2)

表-1 試験液の生菌数測定結果

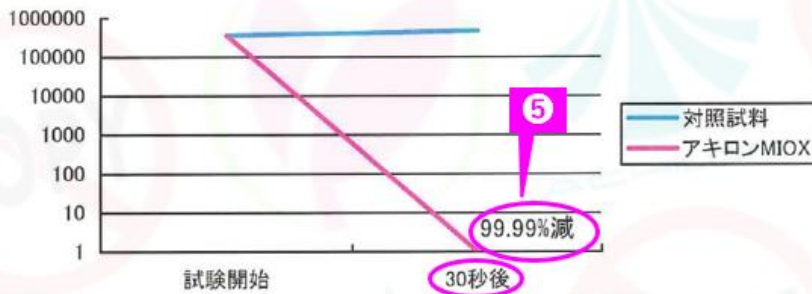
試験菌株： 黒カビ (Cladosporium) 添加菌数： $3.1 \times 10^6 / \text{mL}$

対象	生菌数 (/ mL)			平均(3回試行)
	開始時	30秒後	減少率	
試料 アキロン MIOX (マイオックス)	3.6×10^5 ※	0×10^1	99.99%	0×10^1
		0×10^1	99.99%	
		0×10^1	99.99%	
対照 滅菌生理 食塩水	4.1×10^5	4.3×10^5		4.6×10^5
	3.7×10^5	5.0×10^5		
	3.1×10^5	4.7×10^7		

保存温度：室温

※試料の開始時は対照試験よりの推定値

グラフ-1 試験液の生菌数の変化



黒カビ菌
Cladosporium
30秒で
99.99%
除菌

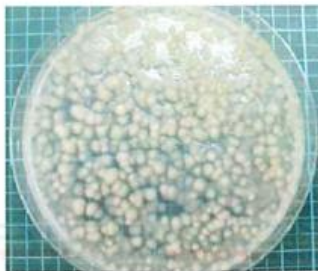


写真-1
試験開始

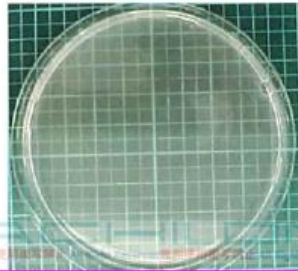


写真-2
30秒後のアキロンMIOX試料

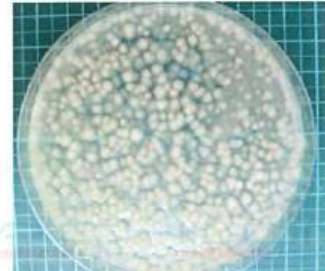


写真-3
30秒後の滅菌生理食塩水対照試料

5. 試験結果

結果を表-1、グラフ-1、写真-1.2.3に示した。

試験結果より、アキロン MIOX(マイオックス)カビ BM 液により、99.99%の黒カビ (Cladosporium) の減少を確認した。

以下 余 白

第三者公的機関の殺菌試験結果により、アキロンマイオックスBM液を使い黒カビを30秒で99.99%除菌された事が確認されました。